

阿波のまちなみ研究会報



---

2024年1月号

vol.347

- 令和6年 新年ご挨拶 .....2～3
- 静岡+1建物紀行 .....4～5
- まち研冬の県外研修 事前学習用データ.....6～7
- 事務局通信 .....8

阿波のまちなみ研究会

〒770-0931 徳島市富田浜 2-10 (公社)徳島県建築士会

phone : 088-653-7570 fax : 088-624-1710

## 令和6年 新年ご挨拶

代表幹事 坂口敏司

新年あけましておめでとうございます。本年も「阿波のまちなみ研究会」共々、宜しくお願い申し上げます。

元旦早々、能登で震度7の地震が発生し、石川県、富山県、新潟県で大きな被害が出ており、被災された方にお悔み申し上げます。

建築士会連合会から毎日、メールで応急危険度判定の結果が入ってきます、調査数に対して要注意（黄色）、危険（赤）と判定されている割合の高さに心が痛みます。TVニュースに映る光景では、相当な地殻変動に、驚きを隠せません。地球がこれだけ動くと建物がどうであれ勝てるものではないと思いました。

平成27年の建築士会全国大会石川大会で訪れた、輪島の朝市通りの火災での喪失には言葉を失いました。世界農業遺産の白米千枚田はどうなったのだろうか？道路が寸断され取材できないのでしょうか。ともかく、平常が早々に戻ることを祈るばかりです。



白米千枚田（H27 坂口撮影）

昨年は、コロナ禍も納まり、久々の県外研修も実施でき、総会懇親会、年末には忘年会と飲み会も復活し通常の生活に戻りつつあった1年でした。

この数年で、怠け癖がついたのか十分な活動が出来ていませんが報告と本年の展望を書かせ

て頂きます。

●阿波学会総合学術調査は、佐那河内村の総合学術調査の1年目が実施され、社寺建築班では悉皆調査を行いました。平成13年に調査を行っており、その時の資料もあり、また所在地も判明しており順調に終了しました。前回調査でのフィルム撮影したものを、デジタル撮影にやり直すとともに、残存状況の確認し、詳細調査候補のチェックとなりました。全般に残存状況もよく、維持状況も良かったという印象でした。社殿が倒壊し瓦礫が残されたままの所があり大変驚きましたが、近くの神社に合祀されており安心しました。今年度は、詳細調査と原稿執筆の年で、前回出来なかったところを調査する予定です、新たな発見があればと思います。



嵯峨天一神社 拝殿前で集合写真

### ●出羽島の建築士会まちづくりハウス

令和3年度に完成したまちづくりハウスは、今年度の中四国ブロックまちづくり委員長会議（1月20日、21日）の会場の一つとして活用されることとなりました。また、3月23日～31日の間に開かれる出羽島アートフェスでNPO アーツシコクのワークショップ「四国芸術運動会」で製作した作品3点を、期間中展示することになりました。

### ●県外研修旅行

昨年は、会員以外の方にも参加できる旅行とし4月15日に16名が参加し、日本民家集落博物館、大阪くらしの今昔館、大阪市公会堂、舞子公園の孫文記念館、旧武藤山治邸を見学しました。詳しくは5月号を参照してください。今年度は、2月17日に香里園の八木邸（藤井厚二設計）、伊丹市の旧岡田家住宅・酒蔵などの見学

を行います。



昨年の集合写真（孫文記念館）

●民家見学

つるぎ町半田 大久保家



半田漆器の元問屋 詳しくは7月号参照してください。

神山町 宮田家



徳島市 栗飯原家



詳しくは3月号を参照してください。  
会員の元木さんの紹介で、開催しました。本年も、機会があれば開催したいと思います。

●木村家住宅

三好市東祖谷山村の重要文化財「木村家住宅」の主屋、インキョの保存修理工事が始まりました。解体調査が行われ、現在は、文化庁に現状変更の申請中とのことです。発掘調査により芋穴の後ろに、当初の芋穴が発見され、創建時の土間の範囲が解りました。



本年から、現状変更の許可後、復元工事が始まります、見学会を企画したいと思います。

●那賀町萬福寺見学

会員の原田さんの紹介で、見学しました。

本年も、宜しくお願い致します。

建築士会全国大会報告

## 静岡+1 建物紀行

まちなみ部会 林 茂樹

2023年全国大会は静岡市、私が建築士会に入会した年の大会も静岡市（1976年）で一巡し、感慨深いものがあります。貸し切りバスの夜行と言う眠れなかった強行軍の思い出です。

私は大会前日のヘリテージマネージャー総会と千木の会があるため車で向かいました。総会前には町歩きで静岡市庁舎、県庁舎、別館から家康の計画した駿府の町割りを眺めました



登録文化財静岡市庁舎（1934）設計：中村與資平



静岡市庁舎議場

設計者中村與資平（1880静岡生まれ）は東京帝大建築学科卒業、朝鮮や東京で建築事務所を開き数多くのRC造公共建築を手がけた。



静岡県庁舎（1937）設計：中村與資平

翌日は全国大会、午前中は千木の会で久能山東照宮参拝と日本平夢テラスへ、



久能山東照宮

日本平夢テラスは隈研吾設計、天望回廊は鉄骨構造フレームに化粧で角材を吊って木造っぽく見せているところがあざとい感じを受けた。

建物の方の木使い方は良いのに残念である。



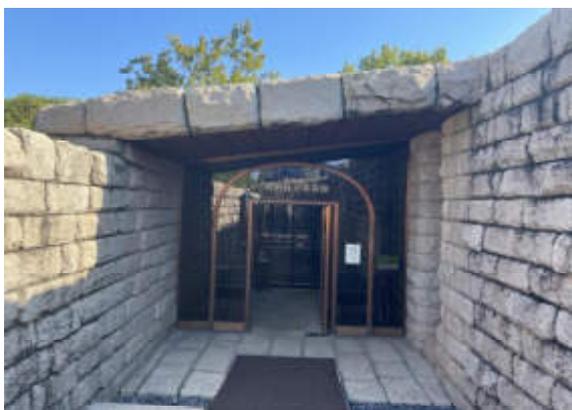
日本平夢テラス 設計隈研吾



夢テラスにて千木の会（連合会役員08会）の面々  
午後からの式典で、千木の会は各県会長席の隣  
だったので坂口会長を撮影、中央に居ます。



翌日は車で建物巡り、登呂遺跡公園にある芹  
沢圭介美術館へ、設計は白井晟一。登呂遺跡の  
復原縦穴住居も見学。その後岡部宿大旅籠柏屋、  
資生堂アートハウス、秋野不矩美術館を巡り、  
伊良湖のホテルで宿泊し、日本三大稲荷の一つ  
豊川稲荷を参拝して帰ってみました。



芹沢圭介美術館 白井晟一設計



登呂遺跡復原縦穴住居



秋野不矩美術館 藤森照信設計



妙厳寺 豊川稲荷（愛知県）

## 事前学習用データ

### ●見学予定1

#### ・八木邸

所在地：大阪府寝屋川市  
建築年：1930年（昭和5年）  
設計者：藤井 厚二  
建物種別：住宅  
構造：木造2階建  
登録：国登録有形文化財（令和5年、八木家住宅主屋・下男部屋・蔵・門及び塀）  
特徴：聴竹居建築の2年後に竣工。聴竹居同様に、特異な通気方法など、周囲環境を生かして快適な住空間を創り出す設計がなされている。2019年の県外研修会で見学した聴竹居との違いはその立地。郊外の住宅地に建築された八木邸ではどのような工夫がなされているのか。



↑ 駅近くに造成された住宅地に建つ『八木邸』  
※写真は八木邸 HP より転載



↑ 2019年に見学した『聴竹居』

### ●見学予定2

#### ・ミライザ大阪城（旧第四師団司令部庁舎） （元 大阪市立博物館）

所在地：大阪市中央区大阪城 1-1  
建築年：1931年（昭和6年）  
構造：RC造 地上3階 地下1階  
設計：第四師団経理部  
施工：清水組（現清水建設）  
特徴：外観は中世ヨーロッパの城郭建築をもとにしていると言われている。建物自体には文化財指定はないものの、特別史跡の重要な構成建造物として、改修等には文化庁の許可が必要。外観保存の上で耐震改修が実施され2017年から複合商業施設として開業した。



↑ 改修後の外観（外装材は建設当時のもの）



↑ 中央階段



↑ 建設当初（※写真は MIRAIZA OSAKA-JO HP より）

★ミライザ大阪城では、建物見学のほかランチをいただく予定です。(モダンイタリアンのランチコース)

なお、バス降車場所からミライザ大阪城まで至る経路上にも多くの歴史的建造物がある。



大手門（重要文化財）



多門櫓（重要文化財）



千貫櫓（重要文化財）



桜門（重要文化財）

●見学予定3

- ・市立伊丹ミュージアム（旧岡田家住宅他）

所在地：兵庫県伊丹市宮ノ前2

建築年：1674年ごろ（延宝2年）

建物種別：住宅・店舗他

構造：木造平屋一部二階建て、切妻造り  
本瓦葺

登録：重要文化財

店舗 酒蔵 附釜屋および洗い場

特徴：「建物はいずれも酒造に関わるもので、店舗は、一部の床を撤去する等の改造があるが、主要部材はよく残り、土間の豪壮な梁組等は当初の構えをよくのこしている。酒蔵は、店舗の後方に建つ二階建のやや規模の大きな土蔵造の建物である。旧岡田家住宅店舗は、全国的にも数少ない年代の確実な十七世紀建築の町家として価値が高い。酒蔵は、主屋と一連の構えをのこしていて貴重で、酒造で栄えた伊丹の酒蔵の古い例としても注目できる。」（以上、文化遺産オンラインより転載）



↑旧岡田家住宅店舗

※写真は市立伊丹ミュージアムHPより



↑日本最古の酒蔵「旧岡田家住宅・酒蔵」

※文化庁日本遺産ポータルサイトより  
市立伊丹ミュージアムでは、このほか県指定文化財の「旧石橋家住宅」も見学します。

## 【事務局通信】

### 令和5年11月例会の報告

- ◇令和5年11月15日(金)17:30～  
建築士会会議室  
まち研だより発送作業：坂口、鎌田、  
丸山、島田
- ◇令和5年11月15日(金)18:30～ 例会  
建築士会会議室  
坂口、林、真鍋  
丸山、島田

◇研修旅行について、日程・見学先などの検討を行いました

◇坂口さんより、木村家住宅隠居屋修理工事について、経過報告がありました

### 令和5年12月例会の報告

令和5年12月の例会は、(公社)徳島県建築士会の祝賀会と日程が重なったため中止とし、翌週23日(土)に忘年会を行いました。

- ◇令和5年12月23日(土)18:30～ 忘年会  
鎌田、坂口、谷中、林、原田  
真鍋、丸山、島田

### 県外見学会 参加者追加募集のお知らせ

◇今月号で詳細をお知らせしている、大阪方面への県外見学会ですが、若干名まだ定員に空きがあります。参加ご希望の方はまち研会員までお申し込みください。(お申込み時点で定員に達している場合もあります。悪しからずご了承ください。)

実施日：令和6年2月17日(土)  
見学先：香里園・八木邸(藤井厚二設計)  
旧岡田家住宅・酒蔵(重要文化財)  
旧石橋家住宅(県指定文化財)  
定員：15名程度(八木邸の見学可能人数)

旅程：8:00 徳島駅前集合  
11:00 八木邸見学(解説有。所要時間1時間程度)  
12:30 MIRAIZA 大阪城にてランチ  
15:00 伊丹市立伊丹郷町館他見学  
19:00 徳島駅前帰着

### 令和6年2月例会について

- ◇令和6年2月16日(金)18:30～ 例会  
建築士会会議室  
※まち研だよりの発送作業はありません

### 編集部より

☆私ごとですが、お正月休みに京都に出掛けました。福田美術館(渡月橋のすぐ近く)に江戸絵画の展覧会を見に行ったのですが、思いのほか道路の渋滞もなく、スムーズに目的を果たすことができました。おかげで少し時間が空き、思い立って桂離宮に行ってまいりました。皆さまご存じかもしれませんが、桂離宮の参観は2018年から拡充され、以前より各段に申し込みのハードルが下がっています。当日受付枠が増え、空きがあれば今回のように思い立ってすぐ観覧することも可能です。(その代わり有料となっています。1,000円/人)およそ6年ぶりの桂離宮でしたが、今回は主に庭園についての詳しい解説もあり、やはり何度見ても新しい発見がありました。



☆原稿を募集しています。送付は以下まで。  
Mail: [m-style@mb.pikara.ne.jp](mailto:m-style@mb.pikara.ne.jp)

---

《まち研だより》2024年1月号 VOL. 347号  
発行日 令和6年1月19日(金)  
発行 阿波のまちなみ研究会  
〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10  
(公社)徳島県建築士会  
TEL. 088-653-7570 FAX. 088-624-1710  
代表者 坂口敏司(坂口建築設計室)  
事務局 真鍋憲資(studioKEN) 088-635-4272  
[studioken@mc.pikara.ne.jp](mailto:studioken@mc.pikara.ne.jp)  
編集者 島田めぐみ(M-STYLE 設計室)  
谷中俊裕(阿南工業高等専門学校)

---